

前	奏	黙想	祈	禱	
招	詞	詩編 29:1~2	讃	美	歌 265 世びとの友となりて
讃	美	歌 28 わがたま、たたえよ	献	金	
祈	禱		讃	詠	547 いまささぐるそなえものを
信仰告白	使徒信条	566	黙	禱	
聖	書	出エジプト記 3:7~8	主の祈り		564
		ヨハネによる福音書 6:38~40	讃	詠	545 父のみかみに
讃	美	歌 II-1 ころを高くあげよう	祝	禱	
説	教	『神の民』	後	奏	

「イスラエル」という神の民が形成されるのは、荒れ野での40年にわたる旅を経てのこと。血族としてのヘブライ人が「神の民」なのではない。ヘブライ人をはじめエジプトで奴隷にされていた諸部族の者たちが、荒れ野で「主なる神」の試練を受けて「神の民イスラエル」になったのだ。

「主は言われた。〔わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみをつぶさに見、追い使う者のゆえに叫ぶ彼らの叫び声を聞き、その痛みを知った〕(出エジプト3:7)」。どんな苦しみ、叫び、痛みだったのか。熱血漢だったモーセは、ヘブライ人に鞭ふるうエジプト人を殺した(2:11~12)。そしてまたヘブライ人同士の争いを仲裁しようとして、かえって同胞から「エジプト人を殺しておいて、ケッ偉そうに」と凄まれる(2:14)。支配者には奴隷として酷使され、頼りにすべき同胞は互いに争い合う荒涼とした現実。このように、どこを見ても希望のない者が「エジプトにいる神の民(3:7)」であった。

神は天にいて、地にある人間の苦しみを平然と眺めたり「できない」。御自分の民の苦しみを「つぶさに見、聞き、知り(3:7)」、もうどうしようもなく「わたしは降って行き、エジプト人の手から彼らを救い出そう(3:8)」とされた。神の全能は、人間の苦悩を人間のように負う事でもあった。だからいわば人間として、その苦しみを見、その叫びを聞き、その痛みを知った。高邁な人間が神に近づいて聖になったのではない。神がこの地上に降って来て下さり、私たちのような俗になられたのだ。

そこに神が降り、民の苦しみと、民の叫びと、民の痛みと共に神がおられるがゆえに「神の民イスラエル」が生じた。それでは歓喜や豊かさの中に、神は共におられないのか。その「おもかげ」くらいは感じるかもしれない。しかし権力や暴力、享楽や飽食の内に神を見出すことは決してあるまい。

「わたしが天から降って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うためである(ヨハネ6:38)」。遠い昔、40年間荒れ野を旅した人々が神の民となったように、イエスが天から降ったクリスマスによって、いっそう根源的な「教会」という神の民が生じた。人間も動物もやがて死ぬが、「キリストの体」である神の民は死んでも「失われる」ことがない。神の「御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させること(6:39)」。

「わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである(6:40)」。「子を見て信じる」とは、イエスの言葉やふるまいを何事よりも「然り」とすること。イエスを然りとする私で生き、然りとする私で死ぬ。復活を実行させるキリストに捉えられた「私」として生き、終わりの日はおそらく「死んでいて」迎えるだろう。ここに生と死の境界線はない。イエスが「わたしがその人を(6:40)」と言うほど、私たちは「気にかけている」。それほど「つぶさに見られ、つぶさに聞かれ、つぶさに知られている(出エジプト3:7)」。

天から降ったイエスは(ヨハネ6:38)、この地で私たちに問う。「わたしは復活であり、命である~このことを信じるか(11:25~26)」と。兄弟ラザロの死を嘆き悲しみながら、復活を言い伝えくらいにしか思っていないマルタ(11:24)に正面から問うた。私たちが与るキリストの命は、今この瞬間にして永遠。

地から天へではない 天から地へだ クリスマスよりもずっと昔からの 救いがもたらされる方向  
 神を見つけるのではなく神に見つけられる 自分が納得できる自分の牢獄から一歩出るだけでよい  
 2/17(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(山梨YMCAで)。2/19(水)1:00~3:00 教会カフェ(1:30~2:00 聖書のおはなし)。牧師の動き:2/21(金)東京管区教誨師研修会(長野刑務所)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。